

過去の災害

那須水害

平成10年8月26日から31日にかけて、前線が日本付近に停滞し、台風4号が日本の南海上をゆっくりと北上した。この期間、台風の影響も加わり前線の活動が活発となり、北日本や東日本を中心に雨が断続的に続き、町は記録的な大雨となった。



町では、26日から5日間連続して130mm以上の日降水量を観測し、総降水量が1,254mmに達したため、各地で洪水、浸水、土砂災害の被害が発生し、特に27日には、1時間降水量90mm(1時～2時)、3時間降水量205mm(0時～3時)、日降水量607mmの記録的な豪雨となり、河川の氾濫、土砂崩れなどの大きな被害が発生した。



このため町では、27日に災害対策本部を設置し、自衛隊の派遣要請、災害救助法の適用要請を行い、救助・救出活動、避難所の開設、給水・給食活動、生活必需品の供給などの災害応急対策を実施した。

東日本大震災



町では、震度6強の地震に襲われ、家屋の倒壊、道路舗装の段差、水道管破裂による断水、通信機器の寸断など、ライフラインに大きな影響を受けた。このため、町では、11日15時、災害対策本部を設置し、被害状況、町内被災者及び福島県からの避難者の把握、支援、並びに帰宅困難者受け入れに努め、避難所の開設、給水・給食活動、生活必需品の供給などの災害応急対策を実施した。

平成23年3月11日14時46分ごろ、東北地方を中心に強い地震があり、宮城県北部や福島、茨城、栃木の各県で震度6強を観測し、大規模な津波、火災のほか建物が倒壊しました。



地域ぐるみで防災に取り組もう

自主防災組織とは

自主防災組織とは、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の意識を持って、次のような防災活動を行うために自主的に結成する団体のことです。

自主防災組織の活動

平常時

災害時に効果的な活動ができるよう、避難訓練や備蓄などの必要な災害への備えを行います。避難訓練を企画し、住民への参加を呼び掛け実施します。訓練の際にはハザードマップの活用が浸透するよう住民へ周知することも重要です。早期立退き避難が必要な区域の住民に対しては、年に1度以上の避難訓練を実施するなど防災に関する正しい知識を共有します。各家庭でも災害に備え、自主防災組織への積極的な参加を促します。

防災訓練の実施



日ごろからの声掛け (要支援者の把握など)



防災資機材の整備



災害時

自主防災組織は初動対応以降も復旧・復興に向けて、他団体と連携しながら、継続的な活動が求められ、災害時の活動においては、自身および家族の安全確保を前提として活動します。

隣近所の安否確認



隣近所に声をかけ合い、要配慮者への早めの避難を促す

避難誘導



避難するときは、2人以上で行動する

情報収集・伝達



要配慮者への情報伝達方法も記載しておく。

隣近所の人と協力しあえば、大きな力が発揮できます。災害の際に被害を軽減し、安全・安心を確保するため、地域の皆さんで自主防災組織をつくりましょう。町は自主防災活動を支援しています。行政区で自主防災活動を行いたい、組織を結成したい、防災訓練を実施したい等の相談がありましたら 総務課 ☎0287-72-6901 にお問い合わせください。